

令和7年度 地域医療体験研修 報告集

開催日 令和7年9月24日（水）～26日（金）



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所

目次

	ページ
1 実施要項	1
2 スケジュール	2
3 工芸品ワークショップと見学	3
4 西会津町・西会津診療所職員による講義 & 郷土料理の調理実習	4
5 在宅訪問診療の同行研修事前レクチャー	6
6 参加学生の交流（宿泊）	7
7 在宅訪問診療の同行研修&交流会	8
8 南会津病院 医師による講義施設見学・症例検討 . . .	9
9 地元医師との交流会	10
10 南会津消防署 施設見学・職員による講義	11
11 合同会社ねっか蒸留所 施設見学	12
12 只見町朝日診療所 施設見学	13
13 研修のまとめ・発表	14
14 研修の感想・アンケート集計結果	15

1 実施要項

- 1 研修の目的
地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療等の現状視察や地域住民等との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。
- 2 開催日
令和7年9月24日（水）～9月26日（金）〔2泊3日〕
- 3 対象者
地域医療に関心を持つ医学部学生（学年不問）
- 4 参加者
13名
- 5 研修地
有限会社若喜商店、西会津町公民館、奥会津在宅医療センター（訪問診療に同行）、南会津
病院、南会津消防署、合同会社ねっか、只見町朝日診療所など
- 6 宿泊場所
つきみが丘町民センター（柳津町）
ダイワリンクホテル会津田島（南会津町）

2 スケジュール

月 日	行 程	場 所
9月24日（水）	赤べこの絵付け体験	喜多方市 有限会社若喜商店
	西会津町・診療所職員による講義& 郷土料理の調理実習	西会津町 西会津公民館
	訪問診療同行研修事前レクチャー 参加学生の交流（宿泊）	柳津町 つきみが丘町民センター
9月25日（木）	在宅訪問診療の同行研修	三島町 奥会津在宅医療センター
	奥会津在宅医療センター職員との 交流	三島町 宮下活性化センター
	医師による講義・施設見学	南会津町 県立南会津病院
	地元医師との交流	南会津町 はいつと食堂
	宿泊	南会津町 ダイワリンクホテル会津田島
9月26日（金）	施設見学・職員による講義	南会津町 南会津消防署
	施設見学	只見町 合同会社ねっか 奥会津蒸留所
	施設見学	只見町 只見町朝日診療所
	研修のまとめ・発表	

3 工芸品ワークショップと見学

【 日 時 】 9月24日（水） 10：30～11：50

【 場 所 】 喜多方市 有限会社若喜商店

【 目 的 】 会津地域で長年培われてきた伝統工芸とのふれあいを通して、地域の歴史や文化についての理解を深める。

【 内 容 】

1 赤べこの絵付け体験

◎冠木代表のレクチャーを受け、絵付け体験を行いました。

2 館内見学



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・赤べこの絵付けだけではなく、歴史まで学ぶことができた。
- ・赤べこの云われや意味を学べたことで思いを込めて絵付けができた。家に飾りたい。
- ・蔵の街、喜多方を、蔵の見学を通じて触れることができてよかった。
- ・代表のユーモアあふれる説明が良かった。

4 西会津町・西会津診療所職員による講義 &郷土料理の調理実習

【 日 時 】 9月24日（水） 13:10～16:30

【 場 所 】 西会津公民館

【 目 的 】 西会津町の健康づくり事業や医療・介護との連携の取り組みについて学ぶ。また、郷土料理の調理実習を通して、地元住民との交流を図り、地域への理解を深める。

【 内 容 】

1 講義

（1）西会津町職員による講義

・講師：西会津町健康増進課 二木 美津子 保健師係長

◎「西会津町における健康のまちづくり」のテーマで、町のこれまでの健康づくり事業の沿革や、現在の取組内容（ex：「さすけねえ輪」の健康づくり）について御説明いただきました。

（2）国保西会津診療所職員による講義

・講師：西会津町国保診療所 田崎 美記子 医療介護相談員

◎「医療介護相談員」の役割や、相談員の業務の観点から見た地域医療の取組について御説明いただきました。



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・患者の背景に配慮した、その人のための医療を提供する大切さが分かった。
- ・西会津町の町と良くしようとする熱意と地元への愛を感じた。
- ・さすけねえ輪などのオリジナリティがあり、革新的。
- ・医療と介護の連携がどのように行われているのかを教えていただけた。

2 郷土料理の調理実習

- ・実習指導：西会津町健康増進課 物永 葉子 主任専門管理栄養士
西会津町食生活改善推進員の皆様3名

◎物永様より、こづゆをはじめとする会津の郷土料理について、また、減塩の推進など栄養バランスも考えながら伝統を継承していくことの重要性についてお話をいただきました。

◎西会津町より3名の食生活改善推進員の方にも御指導をいただき、こづゆの調理を行いました。調理実習を通して学生との交流をさせていただきました。



参加者の声（アンケート等より）

- ・郷土料理が同じ料理でも地域によって特色があることを知ることができた。
- ・こづゆ作りを通して、推進員の方と交流でき、とても楽しかった。
- ・楽しみながら伝統の味を楽しめた。
- ・食生活改善推進員の地域での活動を知ることができた。
- ・おいしかった。

5 在宅訪問診療の同行研修事前レクチャー

【 日 時 】 9月24日(水) 17:45~18:45

【 場 所 】 柳津町 つきみが丘町民センター

【 内 容 】 福島県立宮下病院の小野副院長、押部医師から、翌日の研修について、事前にレクチャーをしていただきました。



6 参加学生の交流（宿泊）

【 日 時 】 9月24日（水） 19：00～20：30

【 場 所 】 柳津町 つきみが丘町民センター

【 内 容 】 参加者全員で自己紹介を行い、学生同士の交流を深めました。

《御出席》 宮下病院 小野 正博 医師
押部 郁朗 医師



7 在宅訪問診療の同行研修&交流会

【 日 時 】 9月25日(木) 9:40~12:35

【 場 所 】 三島町 福島県立宮下病院
宮下活性化センター

【 目 的 】 患者宅への訪問診療の同行研修を通して、業務の内容や地域の実情、また、奥会津地域におけるセンターの役割や在宅医療の重要性について理解を深める。
研修後は、交流会を開催しました。

【 内 容 】

- 1 在宅訪問診療への同行研修
県立宮下病院の小野副院長、押部医師と2班に分かれて研修を行いました。
- 2 交流会



参 加 者 の 声 (アンケート等より)

- ・簡単に病院に行けない不便さや介護の大変さを感じると同時に、そのような地域で自分も少しでも役に立ちたいと一層強く思うことができた。
- ・患者さんが医師に涙を流しながら感謝している姿を見て、地域医療は人々の心のよりどころとして非常に大きなものだと感じた。
- ・自分が何もできないということを痛感した。
- ・自分自身も将来関わってみたいと思っていた訪問診療について同行させていただき、貴重な機会となった。

8 南会津病院

医師による講義・施設見学・症例検討

【 日 時 】 9月25日（木） 15:00～17:30

【 場 所 】 県立南会津病院

【 目 的 】 南会津地域で地域医療に取り組む医師による講話を通して、南会津地域における医療の現状や、医師・病院の役割及び他関係機関との連携について理解を深める。

【 内 容 】

1 医師による講義

・講師：南会津病院 佐竹 秀一 医師

◎南会津地域の医療の現状について、医師数や診療科の偏在、また救急医療体制の観点から御説明いただきました。

◎患者を想定し、その患者の置かれている状況から、退院の診断をして良いかの検討を行いました。

2 症例検討

・講師：南会津病院 中崎 優希 医師

◎想定した患者の事例をもとに、学生との意見交換を行いました。また、この事例について主治医意見書をどのように記入すれば良いか演習しました。



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・佐竹先生の地域医療に対する想いにとっても心を動かされた。
- ・佐竹先生の地域への愛をとっても感じた。地域医療を担う医師の在るべき姿を見ることができた。
- ・佐竹チルドレンになった。私も将来、地域医療に携わりたい。
- ・地域医療は、退院してからのことも重要だと学んだ。

9 地元医師との交流会

【 日 時 】 9月25日(木) 18:30~

【 場 所 】 南会津町 はいっと食堂

【 内 容 】 南会津地域で従事されている医師の方々に御出席をいただき、学生との交流、意見交換を行いました。

《御出席》 南会津病院 佐竹 秀一 医師
中崎 優希 医師



10 南会津消防署 施設見学・職員による講義

【 日 時 】 9月26日（金） 9：00～9：50

【 場 所 】 南会津消防署（南会津地方広域市町村圏組合消防本部）

【 目 的 】 地域の救急搬送体制を担う南会津消防署救急隊による講話や施設見学を通して、南会津地域の救急情勢や医療機関、行政機関との連携について学ぶ。

【 内 容 】

1 消防長あいさつ

2 救急係長による講話

◎「南会津消防本部救急体制」のテーマで講話をいただきました。医療機関や行政との連携状況、スムーズな救急搬送への取り組みについて御説明をいただきました。

3 庁舎見学

◎庁舎内を御案内いただき、普段見ることのできない設備・車両内部を見学しました。



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・病院内だけではなく、消防とも連携をして命を救う大切さを学んだ。
- ・広大な面積、隔絶された環境下で限られたリソースの最大限の活用法や分署などとの緻密な連携を実際に見ることができた。
- ・救急車がなければ救急医療は始まらないという、多職種連携を感じることができた。
- ・現場に向かうにあたって、どのような想いで備えているか、当事者から意見を聞くことができた。

1 1 合同会社ねっか蒸留所 施設見学

【 日 時 】 9月26日（金） 10：40～11：50

【 場 所 】 合同会社ねっか蒸留所

【 目 的 】 見学を通して過疎化が進む地域を存続するための取組や地域への理解を高める。

【 内 容 】

・会社役員 馬場 由人 様

◎馬場様に、会社設立の経緯や取り組んでいる事業について、御説明いただきながら施設を見学しました。



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・好きを仕事にすることは素敵だと思った。地域への強い想いをカッコいいと思った。
- ・ねっかを通して、地域活性化につなげたいという地元の人の想いを知った。
- ・地域おこしのために、地域の方々が地元の米を使い、世界で評価されるお酒を造っていることに感銘を受けた。
- ・地元を何とか知ってもらいたいという熱意を感じた。
- ・貴重な体験だった。お酒好きの父に教えたい。

12 只見町朝日診療所 施設見学

【 日 時 】 9月26日（金） 13:00～13:20

【 場 所 】 只見町朝日診療所

【 目 的 】 診療所医師による事例検討や施設見学を通して、地域における診療所の役割や関係機関との連携の重要性、へき地医療に必要な考え方について理解を深める。

【 内 容 】

・佐竹 秀一 医師

◎南会津病院から診療応援で来ていた佐竹医師に、診療所及び隣接の介護老人保健施設を御案内をいただき、施設を見学しました。

・齋藤 充事務長

◎齋藤事務長から只見町や診療所の概要や課題について御説明いただきました。



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・只見町の現状と病院の機能を知ることができた。現在、限界状態で、高齢者も減少しており、新しいフェーズに移っていることを知った。
- ・綺麗な施設があるのにも関わらず、職員不足で入院できない大変さ、もったいなさを感じた。
- ・医療がなくなったことがある町の人々の優しさや医師の覚悟を知った。
- ・只見町の医療の拠点となる診療所を見学させていただき、地域医療のイメージが膨らんだ。

13 研修のまとめ・発表

【 日 時 】 9月26日（金） 13：20～16：00

【 場 所 】 只見町朝日診療所

【 目 的 】 事前に提示されていたテーマを基に、地域医療体験研修に参加して感じたことなどを一人ずつ発表し、学びを共有する。

【 内 容 】

◎3日間の研修を通して、下記のテーマについて考えたことを学生一人一人が発表しました。

〈テーマ〉

- ①今回の研修の感想（地域の良い点好きな点を含む）
- ②地域医療を担う医師に求められる資質・能力
- ③今回の研修を通して考える医学部卒業までに備えるべき能力

〈座長〉福島県立医科大学 医療人育成・支援センター長 大谷 晃司 主任教授



参 加 者 の 声（アンケート等より）

- ・みんなの考えを聞くことができ、多様な視点からの現状での地域の問題について考えることができた。
- ・地域医療についても理解でき、強い興味がわいたが、それだけではなく、看護師や福祉についても、よく考える良い機会になった。
- ・他人の意見や考えを聞いて気づけなかったこと、新たに学んだことがあり、とても勉強になった。
- ・他の班の発表では、全く異なる意見を知ることができた。考えが深まった。

14 研修の感想・アンケート集計結果

〔感想①〕

地域医療の難しさを一番に感じた。医療を取り巻く環境を学ぶ機会となり、かなり水際で踏ん張っていることが分かった。

地域住民と医師の関りを知ることができたが、同時に今の体制の脆さを認識した。

〔感想②〕

会津の訪れたことがない土地を知る機会を与えていただき、ありがとうございました。

私は医師の少ない街を知らなかったので、新しい知識・経験となり、自分を成長させる研修となりました。

特に訪問診療という、なかなか体験できない機会を実際に体験し、新たな発見がありました。

会津の方々の温かさにも触れることができました。本当にありがとうございました。

〔感想③〕

参加する前は、地域医療について漠然としたイメージしかなかったが、研修を通して様々なことを学ぶことができた。こういった地域に来る機会はないので、良い経験となった。

〔感想④〕

足を運ぶことがなければ、知ることがなかった沢山の魅力に触れることができ、非常に良い実習でした。

この実習を通して、地域医療を担う医師になりたいと明確に思えた訳ではないというのが正直なところだが、選択肢が広がったという面では、今後の人生に大きく関わる経験ができた。

訪問診療先の患者さんを初めとし、多くの職種の方々に優しく、温かく迎え入れてくださり、恵まれた環境で実習できていると実感できました。

〔感想⑤〕

会津のいろいろな場所を訪れることができ、会津の魅力を感じることができました。

以前から興味があった地域医療や訪問診療を見学させて頂けたり、現地の医師の話を聞くことができて、大変貴重な経験となった。

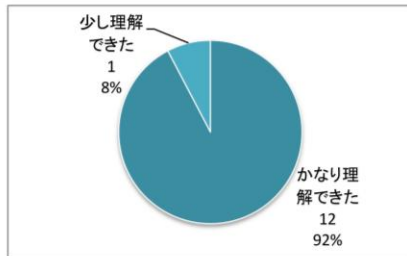
今回、学んだことを振り返り、勉学に励んでいきたいと思います。

会津・南会津コース ポストアンケート集計結果

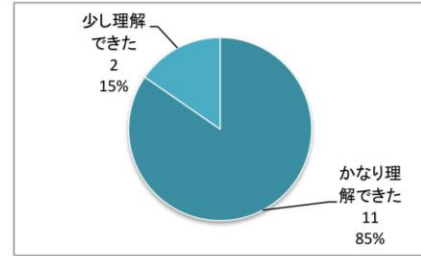
(アンケート回答者13名／参加者13名)

令和7年度

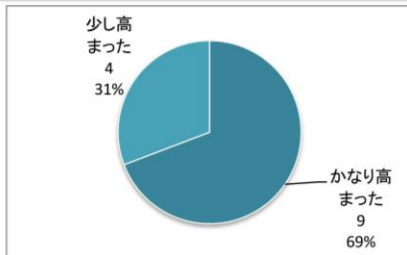
(1) 会津・南会津地域の地域医療の実態を理解することができましたか。



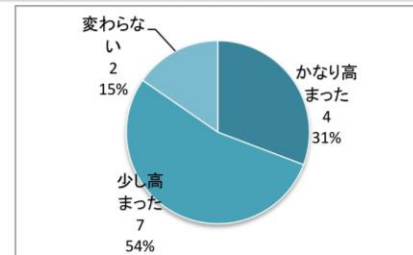
(2) 会津・南会津地域の文化や住民の生活の実情などを理解することができましたか。



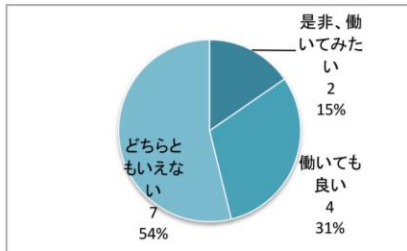
(3) 地域医療に関する関心は、以前よりも高まりましたか。



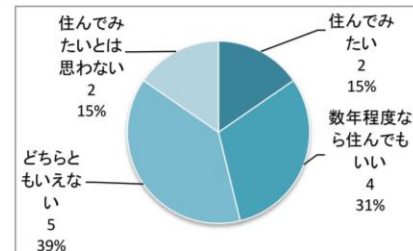
(4) 将来、医療過疎の地域での医療に関わりたいという意識は、以前よりも高まりましたか。



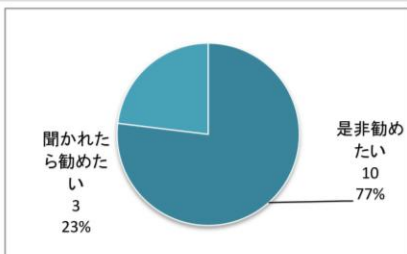
(5) 今回訪れた地域で、将来、機会があれば、働いてみたいと思いますか。



(6) 今回訪れた地域に、将来住んでみたいという気持ちを持ちましたか。



(7) 地域医療体験研修(会津・南会津コース)を後輩等に勧めたいと思いますか。





地域医療体験研修 報告集

令和8年2月10日 発行



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
FAX 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp